

# 第1回：校外学習「荒磯松海岸生物観察」

実習 6月3日(金)

指導者 知多自然観察会 降幡光宏氏 を含め3名



↑ 採集中



↑ 採集した生物



↑ 採集した生物の解説



↑ ヤツデヒトデ



↑ クサフグ



↑ クラスで飼っているナベカ

今回の校外学習は入学後初めてのコスモサイエンスコースとしての行事だったのでみんなのわくわくが止まりませんでした。

荒磯松海岸に到着するとまず、指導員の方に海にいる危険な生物や、磯という自然環境について説明をしていただきました。

たとえば、磯は波が荒く、陸に打ち上げられてしまうと命に関わるので磯の生物は岩に吸着・補着したり、岩の下にすんでいたりします。

採集の時には、各自で岩を裏返しながら、岩の下にすんでいるクサフグ、ヤツデヒトデ、アメフラシ、タコ など30種類以上の生物を採集し、それぞれの生物の話をしていただきました。

こんなにきれいな海が日本の太平洋側にあることに驚きました。観察した部分は海のほんの一部でしかないにもかかわらず、生き物がたくさんいたので、地球上の生物の種類の多さを実感することができました。

指導員の方から、潮間帯では高さが約2m変わると聞いて驚きました。採集前に陸に置いておいたビニール袋が、採集後に取りに行ったら水に浸かってしまっていたことで、潮の満ち引きが実感できました。(生徒感想から抜粋)